

第28回

日本在宅ホスピス協会 全国大会 in 四日市



大会テーマ

新時代の看取り文化の構築

少子高齢化が進む地方でのあきらめない四日市モデルを全国へ



日時 2025年9月20日(土) 10:00~15:45 《9:30開場予定》

会場 四日市市文化会館 第2ホール (四日市市安島2丁目5-3)

・・・大会参加無料・申込不要・・・

全て**市民講座**として開催いたします。どなたでもご参加いただけます。

※昼食・お弁当の用意はありません。また会場内は飲食ができませんのでご注意ください。

～満席の場合はお断りさせていただく場合がございますので、何卒ご了承ください。～

プログラム(午前の部)

- 10:00 ~ 10:15
小笠原会長挨拶、大会長挨拶
- 10:15 ~ 10:45
《大会長講演》石賀 文士
- 10:45 ~ 11:45
《特別講演》医師 長尾 和宏
- 11:45 ~ 12:15
《結里花コンサート》
- 12:15 ~ 13:30 休憩



石賀 文士



長尾 和宏



結里花

プログラム(午後の部)

- 13:30 ~ 14:00 《基調講演 1》
日本在宅ホスピス協会
会長 小笠原文雄
- 14:00 ~ 14:30 《基調講演 2》
四日市医師会
会長 山中 賢治
- 14:30 ~ 15:00 《基調講演 3》
いしが在宅ケアクリニック鈴鹿
院長 大竹 耕平
- 15:00 ~ 15:30 《シンポジウム》
座長 石賀 文士
シンポジスト 小笠原文雄 長尾 和宏
山中 賢治 大竹 耕平
- 15:30 ~ 15:45 閉会式
(小笠原会長挨拶、次期大会長挨拶、大会長挨拶)



小笠原文雄



山中 賢治



大竹 耕平

後援 / 四日市医師会・四日市市役所
四日市市社会福祉協議会

助成 / 公益財団法人在宅医療助成 勇美記念財団

事務局 / 医療法人 SIRIUS いしが在宅ケアクリニック
TEL 059-336-2404

主催 /  日本在宅ホスピス協会

会場の駐車場には限りがございますので、公共交通機関にてお越しになれるか、近隣のコインパーキングもご利用ください。

第28回日本在宅ホスピス協会 全国大会 in 四日市

出演者のご紹介

※敬称略とさせていただきます。

午前の部



10:15~10:45

■ 大会長講演

石賀 丈士

いしが在宅ケアクリニック 院長

「在宅看取り文化の再構築のために大切なこと」

かつて日本では、家族が自宅で見守るという文化が根付いていました。実際、昭和初期には約8割、昭和50年頃でも約5割の方が住み慣れたご自宅で亡くなっていました。しかし、病院医療の急速な普及により、次第に病院での看取りが主流となり、一時は8割以上の方が病院で最期を迎える社会となりました。このような変化の中で、かつて日本の伝統でもあった「在宅での看取り文化」を再構築するために、私達は何を大切にすべきなのか。今大会を通じて皆様とともに、その答えを考える1日にしたいと思います。

午後の部



13:30~14:00

■ 基調講演 1

小笠原 文雄

日本在宅ホスピス協会 会長

「なんとめでたいご臨終」

私は僧侶として65年、医師として52年、約3000人の「人生の最期」に携わってきました。在宅緩和ケアで安らか・大らかは当たり前、朗らかに生きて、最期は在宅ホスピスで清らかに旅立terことを学びました。スキルを身につけ、「至心信樂」で生き方・死に方・看取りの文化の変容をもたらす在宅医療が日本を救う、ですね。

午前の部



10:45~11:45

■ 特別講演

長尾 和宏

医師

「穏やかな最期って本当か？」

「眠るように逝く」なんて嘘だ、という医師がまだに多い。私も大昔はそうだった。血だらけ、管だらけで悶絶する最期しか見たことがなかった。でも、今思い返せばその犯人は私だった。あまりにも無知だった自分を恥じ、患者さんに詫言、**「平穏死10の条件・2025年版」**を語りたい。自宅は世界最高の特別室であることをお伝えしたい。

午後の部



14:00~14:30

■ 基調講演 2

山中 賢治

四日市医師会 会長

「在宅医療の四日市モデルの取り組み」

四日市医師会では様々な取り組みを2007年より開始しました。当時の四日市市の在宅での死亡は、13.6%（全国平均並）でしたが、2021年に在宅での死亡は22.1%（全国平均は17.2%）となり在宅医療の四日市モデルとして全国から注目を浴びています。今回、この四日市医師会での取り組みをご紹介します。

午前の部



11:45~12:15

■ コンサート

結里花

歌手

「三重に生まれ育ち、三重に住み、三重を愛する結里花」

医師として医療に従事しながら、精神的に歌手活動も行っている結里花です。2014年には、熊野古道世界遺産登録10周年記念した楽曲「花火」でCDを全国発売。さらに、2019年には四日市港開港120周年を記念した「四日市Love&Story」をリリース。デビュー10周年の2025年6月には3枚目となる「桑名deサンバ」をリリースし、現在も三重県内のさまざまなイベントに出演しています。当日は、会場にお越しの皆様、三重県への愛を感じていただける歌をお届けしたいと思います。

午後の部



14:30~15:00

■ 基調講演 3

大竹 耕平

いしが在宅ケアクリニック鈴鹿 院長

「乳児から百寿者までの在宅医療の実践」 ～文化の構築を目指して～

在宅医療においては、対象となる人を「年齢」や「病気」によって分け隔てをせず、かかりつけ医としてその人自身のみならず、その家族や介護者の伴走者として、包括的かつ継続的に支援を提供することが求められます。本講演では、自身の小児外科医としての経験を生かして、在宅医だからこそ実現できる「分け隔てのない在宅医療」の実践についてお話しいたします。